

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（千葉中央・九十九里部会）		
タイトル	ろっぽう水のみちと園生の森公園		
実施日時	平成29年5月28日（日）10時～12時30分		
実施場所	千葉市若葉区、稲毛区		
受講者	名	F I C会員他スタッフ	8名

活動の内容

千葉市北西部にある「ろっぽう水のみち」と「園生の森公園」を訪れました。「ろっぽう水のみち」とは、千葉市HPによると「建設局で管理する『都市下水路』の内、遊歩道が整備されている『六方都市下水路』を平成18年度に「ろっぽう水のみち」と名称変更したものです。一」とあり、千葉中心街から発する様ですが、今日はその一部の動物公園駅から先を歩きます。

千葉市モノレール「動物公園駅」に集合、雨水排水路脇につけられた遊歩道をスポーツセンター近くまで辿ります。駅から下る階段では千葉では比較的少ないクマシデの果穂が手近に観察できます。遊歩道は植栽木が多いのですが、緑豊かで散策やちょっとした植物観察に適しています。時節柄ウツギが目立ちますが、ヤマグワもそろそろ食べ頃か？ また、温暖化の指標種として注目されているナガサキアゲハの雌も観察されました。

スポーツセンター近くで「ろっぽう水のみち」から離れると、途端にオオキンケイギクやアメリカオニアザミ等の「たくましい！」外来植物に出会いました。

最後の目的地「園生の森公園」は7ha程のイヌシデ、コナラ、ヤマザクラ等が優占する里山風情を残した森で、ボランティア団体の熱心な維持活動のおかげで希少な自然と植物が維持されています。春にはサワフタギやフタリシズカ、ヒトリシズカ、ホウチャクソウなどの花が見事ですが、今日は殆どの花も終わって静かな里山風景でした。でも、観察会等のフィールドに今後活かそうだとの感想も聞かれました。



ナガサキアゲハの雌



アメリカオニアザミの「群落」



ユリノキの花（スポーツセンター）



カラスの巣（園生の森公園で）



園生の森公園にて